

第12期 第5回国立市ごみ問題審議会 議事録

日時 令和3年(2021年)2月1日(月)  
 出席者 山谷会長、山崎副会長、内海委員、楠田委員、隈井委員、高麗委員、田中委員、十松委員、速水委員、山岸委員(委員は50音順)  
 事務局 黒澤生活環境部長、中村ごみ減量課長、豊島清掃係長、河内清掃係主査、岡田清掃係主事

【議事要旨】

- ・本審議会は令和3年1月25日(月)に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催することとした。
- ・書面開催にともない、各議題について令和3年2月1日(月)を期限として各委員より意見をいただいた。
- ・その後、いただいた意見について、山谷会長、山崎副会長、事務局で整理を行った。

(ゴシック体の部分は会長・副会長・事務局での意見の整理の方向)

<p>【議題1】国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況の評価について                  別添の答申書(案)のⅡ章の各事業のシートをもとに、これまでの審議の内容を振り返り、ご意見等をお願いします。</p>	
山谷会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見なし</li> </ul>
山崎副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の審議会では、委員の皆さんがたくさん発言できる雰囲気があり、今後の新しい取り組みのヒントとなる意見も多く出たのがよかったですと思います。個人的には評価をするだけでなく、委員の方などが、次のような新しいことに今後取り組めるよう、お手伝いや議論ができたかと考えています。</li> <li>・紙おむつのリサイクルの実現に向けた検討</li> <li>・積極的なコンポスト化による生ごみの減量に向けた検討                      現状のミニ・キューロの利用だけでは足りません。市民にもっと積極的に働きかけることや、ごみ処理プロセスに取り入れるなど、工夫が必要ですが。</li> <li>・ごみ減量へ取り組んだ市民への表彰制度の検討                      例えば、ごみカレンダーに毎週、何ごみをどれくらい捨てたかを簡単に書き込めるページを作り、袋のサイズや個数を書き続けることで、自分のごみの量が「見える化」するようにし、これを1年間分記入し、ごみ減量を頑張った市民に、ごみ袋をいくつか贈呈するなどはいかがでしょうか。</li> <li>・SNS、市のHPの有効活用                      「ごみを減らしましょう」の啓蒙活動の動画や「ごみ処理プロセスのしくみ」を見せる動画などを簡単に制作してはいかがでしょうか。法政大学のゼミ生が協力することも可能です。</li> </ul>

<p>内海委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会の評価等の記述の基本的な部分には異議はありませんが、抽象的な部分が多いという印象も否めませんので、以下のようにもう少し言葉を補充してもよいかと思いました。</li> <li>・ 8ページ「生ごみ処理機器の普及促進」 「HP上に市民の情報共有の場を設け、あるいはミニ・キエーロの使用についての体験談を紹介するなどして、ミニ・キエーロの使い方について情報提供をしてほしい」 <b>→追加する。</b></li> <li>・ 28ページ「適正な中間処理と安定的な管理運営」 「環境負荷の低減の観点からは、ごみの量が少なければ稼働日数を少なくすることも考えられるため、環境への負荷や、経済的な効率性などを考慮した別の目標や評価の指標を検討してほしい」 <b>→追加する。目標や評価の指標は事務局で検討中。</b></li> <li>・ 37ページ「拡大生産者責任の明確化」 「事業者・消費者団体・市の三者による会合を行うなど、関係者との情報交換の場を設け、関係者と連携して…」 <b>→追加する。</b></li> </ul>
<p>楠田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政による評価で今回C評価となった22ページ「市管理施設での減量施策の強化」と25ページ「安全かつ安定的な収集体制の確保」については、審議会からの評価・指摘事項をよく遵守して、次年度は評価が向上するよう努力してほしい。</li> <li>・ 特に22ページ「市管理施設での減量施策の強化」については、市役所やその関連施設が自ら範を示さなければ、事業者や市民が減量施策に協力するインセンティブを失いかねない。</li> <li>・ 28ページ「適正な中間処理と安定的な管理運営」に関する審議会としての評価の表現は適切かと思しますので、次回評価時まで目標や評価の指標について検討してほしい。 <b>→事務局で検討中。</b></li> </ul>
<p>隈井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10ページ「リサイクルインフォメーションの利用促進」の審議会の評価等の「カレンダー」は「ごみの分け方・出し方カレンダー」としたほうがよいでしょうか。 <b>→修正する。</b></li> </ul>
<p>高麗委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見なし</li> </ul>
<p>田中委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見なし</li> </ul>
<p>十松委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5ページ「ごみ減量協力店」の審議会の評価等に「市民の理解を促す」という文言を入れたほうがよいかと思えます（そのような意見があったかと思えます）。 <b>→「エコショップとの整合を図り」を「エコショップとの違いを分かりやすく市民に伝え」に修正する。</b></li> <li>・ 9ページ「グリーン購入の促進」の行政の評価は「A」に変更したかと思えます。 <b>→行政の評価は所与の参考情報として、審議会は独自に評価する。</b></li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 16 ページ「分別の徹底」の審議会の評価等の「小学生の環境教育」は「小学校の環境教育」としたほうがよいでしょうか。 →修正する。</li> <li>・ 25 ページ「安全かつ安定的な収集体制の確保」の審議会の評価等の「危険ごみの混入というよりは」は「危険ごみの混入というより」としたほうがよいでしょうか。 →修正する。</li> <li>・ 38 ページ「不法投棄対策の推進」の審議会の評価等に「不法投棄」という言葉が4回も出てくるので、もう少し整理したほうがよいかと思います。 →「不法投棄が発生した場合は迅速に対応し」を「発生した場合は迅速に対応し」に修正する。</li> </ul>
速水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見なし</li> </ul>
山岸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22 ページの審議会の評価等で、前回の審議会でペーパーレス会議を行ったことは評価には反映されず、次回以降になるのでしょうか。個人的にはとてもよい試みだと感じました。すべてペーパーレスにするのは難しいですが、少しずつ進んでいくとよいと思います。 →今回は 2019(令和元)年度の評価になるため、次回に反映させる。</li> <li>・ 23 ページの行政の評価は「A」でもよいという意見がありましたが、個人的にもメリハリがあったほうがよいと思うので、Aに変更したほうがよいかと思いました。 →行政の評価は所与の参考情報として、審議会は独自に評価する。</li> <li>・ 24 ページと 25 ページの審議会の評価等で、集積所が増えているのに燃費が変わっていない点と、事故が多くなっている点を指摘して、事故の発生防止を依頼していてよいと思いました。個人的に一番気にかかる箇所なので、適切に記載されていて安心しました。</li> </ul>

(ゴシック体の部分は会長・副会長・事務局での意見の整理の方向)

【議題2】 答申書（案）について 別添の答申書（案）のI章の内容や全体の構成などについてご意見等をお願いします。	
山谷会長	・意見なし
山崎副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には問題なく丁寧にまとめられているかと思いますが、家庭ごみ有料化をして、ごみの量がいったん減ったあとは変わらないことが気になります。今後の取り組みについて、3ページ「全体評価と意見」の「循環型社会形成の推進に向けて、基本計画に定める各施策の着実な実施を望む」の他にも「ごみの減量に向けた斬新な取り組みについて積極的に検討する」のような文言を追加してもよいかもしれません。 <b>→追加する。</b></li> <li>・2ページ「多摩地域のごみの状況と国立市」の「市民1人1日当たりのごみ量」の算出根拠と「多摩地域26市」の市名についての明記はなくても大丈夫でしょうか。 <b>→市民1人1日当たりのごみ量の算出根拠は追加する。</b></li> </ul>
内海委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはよいと思いますが、減量への取り組みを今後どうするのか、どういう対策を考えているのかについて、前向きな姿勢をアピールするのであれば、もっと踏み込んだ記述をしてもよいかと思います。</li> <li>・多摩地域の平均を上回っているという現状をふまえて、他の自治体の実施事例を視察し、国立市への導入の可能性を検討するなどという記述があってもよいかもしれません。 <b>→意見を参考に追加する。</b></li> <li>・あるいは、対策をとるべき問題について、優先順位を設定し、①事業系ごみの排出の削減、②生ごみの排出の削減などと減量を図る対象を絞り込んだうえで、これらについて順次対策を検討していくなどという記述があれば、国立市の積極的な姿勢がアピールできると思います。 <b>→意見を参考に追加する。</b></li> </ul>
楠田委員	・意見なし
隈井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ「国立市のごみ処理の現状」の「順調な減量効果が表れており」は「順調な減量効果が表れているが」としたほうがよいでしょうか。 <b>→修正する。</b></li> </ul>
高麗委員	・意見なし
田中委員	・審議会の評価が的確にまとめられていると思います。
十松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙の「2021(令和2年)」は「2021(令和3年)」でしょうか。 <b>→修正する。</b></li> <li>・目次の「2019(令和2年)」は「2020(令和2年)」でしょうか。</li> </ul>

	<p>→修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 ページ「全体評価と意見」でもう少し新型コロナウイルスとごみの関連に言及したほうがよいかと思います。</li> <li>→「<b>新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、ごみの処理は市民の生活に不可欠なため、引き続き作業員等の感染防止を徹底し</b>」に修正する。</li> <li>・全体の構成についてはよいかと思います。</li> </ul>
速水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立市のごみ量が多摩地域の平均をかなり上回っていましたが、家庭ごみの有料化をしてからは多摩地域の平均に近づいてきていて安心しました。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大によりステイホームが始まったときのごみ量の推移を見たいです。宅配や持ち帰りが多くなり、プラスチックごみはどのくらい増えているのでしょうか。</li> <li>→今回は 2019(令和元)年度の評価になるため、次回に反映させる。</li> <li><b>令和 2 年 4 月～令和 3 年 1 月の総ごみ量は 16,448t(前年比 154t 減)、収集量(主に家庭ごみ)は 13,891t(前年比 503t 増)、持込量(主に事業系ごみ)は 2,557t(前年比 657t 減)。</b></li> </ul>
山岸委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I 章の内容は、現状と問題点が簡潔にまとまっているので、よいと思いました。</li> <li>・全体的には、審議会での話し合いの結果も簡潔にまとまっているので、よいと思いました。</li> </ul>